



# CI インサイトレポート －アルツハイマー病－ 【 目次見本 】

2017.7  
株式会社社会情報サービス  
Social Survey Research Information Co., Ltd

## § 調査概要 < 1 >

※橙字は調査重点項目

調査対象疾患	アルツハイマー病		
調査ポイント	<p>・これまでの臨床開発における問題点を徹底検証！</p> <p>・新規開発薬の治療薬としてのポテンシャルを徹底説明！</p> <p>・<u>MCI</u>、<u>プレクリニカル</u>、<u>周辺症状</u>・・・今後の臨床開発の方向性を徹底予測！</p>		
対象病期/症状	AD（軽度、中等度、高度）、 <b>MCI*</b> 、 <b>プレクリニカル</b> / 中核症状、 <b>周辺症状</b>		
対象薬剤	既存薬	アリセプト、ドネペジル（GE）、レミニール、イクセロンパッチ・リバスタッチパッチ、メマリー	
	<b>開発薬</b>	薬剤種類	抗Aβ抗体、BACE阻害薬 他
		開発品 <新規>	<b>LY2062430/solanezumab</b> <b>MK-8931/verubecestat</b> <b>BIIB037/aducanumab</b> <b>RG1450/gantenerumab</b> <b>RG7412/crenezumab</b> <b>E2609/elenbecestat</b> <b>JNJ-54861911</b> <b>TAK-071</b> 他
		開発品 <適応拡大>	<b>アリピプラゾール(イビリファイ)</b> <b>ブレクスピプラゾール(レサリティ)</b> 他

\* 本レポートで記載しているMCIは、一部の項目を除き、全てアルツハイマー病によるMCI (MCI due to AD) を指している

## § 調査概要＜2＞

調査種類	Part I データ分析編	Part II 定量調査編	Part III KOLヒアリング編
調査手法	(オープンソースを基にした) データ分析	インターネットによるWEB調査	深層面談調査
調査対象医師 (対象医師数)	—	アルツハイマー病の専門医 [治験経験医含む*] (300名)	アルツハイマー病のTOP KOL ＜関連学会理事・代議員＞ (3名)
調査対象施設・ 診療科	—	HP/GP神経内科、HP/GP精神科、 HP/GP一般内科、HP脳神経外科	神経内科HP
調査内容	<p>＜既存薬＞ プロファイル、作用機序・特性、薬価、 販売高推移、臨床試験、関連論文</p> <p>＜開発薬＞ プロファイル、作用機序・特性、 臨床試験、関連文献</p> <p>＜その他＞ 注目企業動向、学会情報</p> <p>＜別添＞ 抄録集（関連論文）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存薬の処方動向</li> <li>MCIの診療状況</li> <li>周辺症状の出現状況、新薬開発の必要性</li> <li>開発薬の認知度・評価・上市後の処方意向</li> <li>新薬開発の際に重視する項目</li> <li>この10年間で治験への参加経験</li> <li>過去の臨床開発の問題点</li> <li>プロトコルに対する満足度</li> <li>MCIを対象とした治験実施の可能性</li> </ul> <p>等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存薬の処方動向</li> <li>MCIの受診動向、薬物療法の必要性</li> <li>開発薬の評価</li> <li>抗Aβ抗体・BACE阻害薬の評価</li> <li>新薬開発の際の重視ポイント</li> <li>周辺症状に対する新薬開発の方向性</li> <li>MCI / プレクリニカルを対象とした治験の課題点</li> <li>過去の臨床開発の問題点 / 今後の臨床開発に対する要望</li> </ul> <p>等</p>
調査実施時期	2017年5～7月		
体裁／頁数	Part I・・・PPT（or EXCEL）、Part II & III・・・PPT / A4 計約300ページ（報告書本編のみ、別添は含まない）		
レポート価格	フルセット＜3パート＞ 150万円（税別）		

\* 調査対象医300名の内、この10年間で、当該疾患治療薬に対する治験への参加経験医 59名



## < Part I データ分析編 目 次 >

### § 調査概要

#### I. 既存品

1. プロファイル
2. 作用機序・特性
3. 薬価
4. 販売高推移
5. 臨床試験 (UMIN)
6. 臨床試験 (JAPIC)

#### II. 開発品

1. プロファイル
2. プロファイル<参考資料>
3. 作用機序・特性
4. 臨床試験 (JAPIC)

#### III. 注目企業動向

1. エーザイ
2. 武田薬品工業
3. ヤンセンファーマ

#### IV. 学会・会議情報

1. 日本老年医学会
2. 日本精神神経学会
3. 日本認知症学会
4. 日本認知症予防学会
5. 日本早期認知症学会
6. 日本神経学会
7. 日本神経治療学会
8. 国際アルツハイマー病協会国際会議

#### V. 関連文献

1. 既存品
  - 1-1. 既存品・製品別
  - 1-2. 既存品・複数
2. 開発品
  - 2-1. 開発品・製品別
  - 2-2. 開発品・複数

## < Part II 定量調査編 目次 ① >

---

### §.調査概要

### §.回答者プロフィール

### §.総括

### §.要約

#### 1) 認知症患者の診療状況

#### 2) アルツハイマー病患者の診療状況

#### 3) MCI(軽度認知障害)患者の診療状況

#### 4) 薬物療法実施状況／薬剤別処方状況・評価

#### 5) 開発薬の認知状況・処方意向・期待内容

#### 6) 新薬開発の方向性

## < Part II 定量調査編 目次 ② >

### §.調査結果

1) 認知症患者の診療状況	5) 開発薬の認知状況・処方意向・期待内容
1.認知症診療患者数	1.薬剤別認知状況
2.認知症の確定診断	2.薬剤別処方意向・期待度
2) アルツハイマー病患者の診療状況	3.薬剤別期待するポイント
1.重症度別患者割合	6) 新薬開発の方向性
2.周辺症状の出現状況	1.アミロイド検査に対する環境整備の可能性
3) MCI(軽度認知障害)患者の診療状況	2.新薬開発の際に重視する項目
1.MCI (軽度認知障害)診療患者数	3.新薬開発の必要性が高い周辺症状
2.MCI患者数のここ3年間の増加率	4.この10年間で治験への参加経験
3.MCIに対する薬物療法の必要性	5.現在参加している治験のプロトコールに対する満足度
4)薬物療法実施状況／薬剤別処方状況・評価	6.過去の臨床開発における問題点
1.薬物療法実施状況	7.国内でのMCIを対象とした治験実施の可能性
2.薬剤別処方状況	8.国内でのMCIを対象とした治験実施が可能になる時期
3.有効性を評価する際に重視する項目	
4.有効性に対して満足度が得られる薬剤	
5.副作用に対して満足度が得られる薬剤	
6.薬剤別今後の処方動向	



## < Part Ⅲ K O Lヒアリング編 目 次 >

### § 調査概要

### § 調査対象医プロフィール

### § 総括

### § 調査結果

1. 既存薬の処方動向（現状と今後）
2. MCIの受診動向
3. MCIに対する薬物療法
4. 開発薬の評価
5. 海外で展開中の薬剤で国内への導入を要望する薬剤
6. 抗Aβ抗体・BACE阻害薬の評価
7. 有望視される作用機序・ターゲット
8. 新薬開発の際の重視ポイント
9. 周辺症状に対する新薬開発の方向性
10. MCIの治療体制の確立
11. MCIを対象とした治験の課題点
12. プレクリニカルを対象とした治験の課題点
13. プレクリニカルを対象とした治療の実現性
14. 過去の臨床開発における問題点
15. 今後の臨床開発に対する要望
16. ARIAに対する認知度